

横須賀をトマホークの街にしない！

先制攻撃を目的とする戦争の道具

ミサイル・トマホークの海上自衛隊への配備を止めよう

共に歩む皆さま

2022年12月、閣議決定した「安保3文書」により、日本は戦争する国へと大きく舵を切りました。その中で、政府は敵基地攻撃能力を持つため、ミサイル・トマホーク400発の導入を決め、舞鶴、呉、佐世保と並び、横須賀の海上自衛隊にも100発が配備されると予測されます。

2023年3月には、横須賀で米軍主導で自衛隊に対するトマホークの運用訓練が始まり、取得は今年2025年4月から3年かけて行われます。

米軍はトマホークを、湾岸戦争、イラク戦争と二つの戦争で先制攻撃に使ったのを皮切りに、その後、少なくとも18の軍事作戦で2200発以上を発射し、現在でも横須賀母港のイージス艦11艘に搭載されています。横須賀は、その攻撃拠点となってきました。

巡航ミサイル・トマホークは、放物線を描いて落下する弾道ミサイルと違い、ジェットエンジンで飛行し低空を飛ぶため、レーダーで捕獲されにくく、射程が長く精度が高いことから「トマホークの発射によって戦争が始まる」と言われるほど、先制攻撃に欠かせない現役の兵器です。

日本政府はかつて、トマホークは攻撃兵器だから自衛隊は保有できないとしてきましたが、専守防衛を投げ捨て、米側の「統合抑止」に必要なとの判断から導入となりました。

ミサイルの先にあるのは私たちと同じように暮らす市民です。平和憲法を持つ国で、私たちの街から、他国を攻めることに反対です。だから、私たちは自衛隊がミサイル・トマホークを持つことを望まないと声を上げます。

また、横須賀市は軍都から平和産業港湾都市への転換を図る「軍転法」を持ち、市是としてきています。この市の姿勢は、トマホーク配備を望まない今回の動きと一致でします。また、憲法では戦争の惨禍を2度と繰り返さないため地方自治を国の下に置いてはいません。その力を活かすときです。

トマホーク配備を多くの市民が知りません。私たちは、市民に知ってもらう活動と同時に、市長並びに市議会も配備しないよう国へ求める請願を出していきます。

また、横須賀海上自衛隊へのトマホーク配備は、横須賀だけの問題ではありません。首都圏に置かれたミサイル基地です。全国とも連帯し、神奈川県にも同様に働きかけます。

戦争を望む人はいません。他国を先制攻撃する兵器だと知ってもらい、トマホーク配備を多くの声で止めましょう！

「トマホークアクション2025」

横須賀市民九条の会/非核市民宣言運動・ヨコスカ/よこすか・みうら市民連合/横須賀平和委員会/原子力空母の母港化を阻止する三浦半島連絡会/原子力空母母港化を考える市民の会

連絡先・巴ふさ (090-8055-6443)、岸牧子 (090-1051-1812)

共に力を合わせていただきますよう、よろしく願いいたします。

以下のアクションを計画しています。

* 「トマホークアクション」

5月17日、13:00~14:00、横須賀中央ワイデッキ

実物大トマホーク絵とパネル展示・巡航ミサイル・トマホークの実物大の絵を描と模型を用意しています。大きさを実感しながら、その性能を知り、導入の狙いを探ります。

* トマホーク学習会と3万人署名キックオフ

5月31日、13:30~15:30、産業交流プラザサロン

横須賀をトマホークの街にしないために学び、3万人署名をどう集めるかフリートークで意見交換します。

* 署名・目標3万筆（横須賀市内2万筆、市外全国で1万筆）

先制攻撃用ミサイル・トマホークの横須賀海上自衛隊配備をしないよう国に意見書を出すよう求める請願を、横須賀市議会、神奈川県議会、それぞれ9月議会。また、横須賀市長、神奈川県知事に提出するよう署名を集めます。

署名運動を通し、トマホーク配備を市民にしらせ大きな世論にしていきます。

署名締切予定・8月15日

* 賛同団体になってください

活動はカンパで賄っています。

団体賛同一口1000円から。ご協力をお願いいたします。個人カンパも大歓迎です。

連絡担当者 氏名 _____ 連絡先 _____

.....キリトリセン.....

賛同する _____ 月 _____ 日

団体名（または個人）

賛同金

.....キリトリセン.....

領収書 _____ 月 _____ 日

団体名（または個人）

「トマホークアクション2025」担当 _____